

展覧会のご案内

EXHIBITION SCHEDULE

2023/4 → 2024/3

April

March



《薬師如来立像》(重要文化財) 12世紀



福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM

交通案内

【福岡市地下鉄】

空港線 大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、徒歩10分

七隈線 六本松駅（科学館前）下車、徒歩10分

【西鉄バス】

（系統番号13・140）● 福岡市美術館東口下車、徒歩3分

（系統番号6・7・12・113・114・200～206・208）● 赤坂三丁目下車、徒歩5分

（系統番号6-1）● 福岡城・NHK放送センター入口下車、徒歩3分

【車】

福岡都市高速「西公園ランプ」から5分

福岡市美術館専用駐車場（普通車：1時間200円、バス：1回2,000円（要事前予約））

利用時間 午前9:00～午後9:00（開館日のみ）

※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。

Access

【By Fukuoka City Subway】

10-minute walk from Exit 3 or 6 of Ohorikoen (Ohori Park, Fukuoka Art Museum) Station [K06] on the Kuko Line.

10-minute walk from Exit 2 of Ropponmatsu (Science Museum) Station [N11] on the Nanakuma Line.

【By Nishitetsu Bus】

Bus No. 13, 140: 3-minute walk from ● Fukuokashi Bijutsukan Higashiguchi bus stop.

Bus No. 6, 7, 12, 113, 114, 200～206, 208: 5-minute walk from ● Akasaka 3-chome bus stop.

Bus No.6-1: 3-minute walk from ● Fukuoka Castle Ruins and NHK Broadcasting Center bus stop.



〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL 092-714-6051（代表） FAX 092-714-6071
1-6 Ohori Koen, Chuo-ku, Fukuoka city
810-0051 Japan
Phone +81-(0)92-714-6051
Fax +81-(0)92-714-6071
https://www.fukuoka-art-museum.jp/



FaN
Fukuoka Art Next

Opening Hours

9:30 a.m.-5:30 p.m.

(Last admission at 5:00 p.m.)

Fri. and Sat. from Jul. to Oct. 9:30

a.m.-8:00 p.m.

(Last admission at 7:30 p.m.)

Closed Days

Mondays (or the following weekday if Monday falls on a national holiday)
Dec. 28-Jan. 4

Admission

【Collection Exhibition & Special Exhibition at Collection Gallery】

Adults: 200 yen (150 yen)

High school and college students:

150 yen (100 yen)

Junior high school students and

younger children: Free

*Prices in parentheses are for visitors in a group of 20 or more.

*You can pay admission using Transportation IC cards, two-dimensional code payment, Barcode payment, or some of credit cards.

【Special Exhibition】

Admission varies according to the exhibition.

開館時間

午前9:30～午後5:30（7月～10月の金・

土曜日は午前9:30～午後8:00）

※入館は閉館の30分前まで。

休館日

月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）

※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日

観覧料金

【コレクション展・企画展】

一般200円（150円）、高大生150円

（100円）、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金。

※交通系ICカード、2次元コード・バーコード決済、クレジットカード等利用可。

◎以下の証明書等ご提示で観覧無料。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミライロID」（以上は介護者1人を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／

先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの（健康保険証、運転免許証等）／ wa+club（わたすクラブ）会員証

【特別展】展覧会によって料金が異なります。

開館カレンダー

●=休館日 ■=開館時間延長日（～午後8:00）

4	S	M	T	W	T	F	S	5	S	M	T	W	T	F	S	6	S	M	T	W	T	F	S
							1		1	2	3	4	5	6							1	2	3
2	3	4	5	6	7	8		7	8	9	10	11	12	13		4	5	6	7	8	9	10	
9	10	11	12	13	14	15		14	15	16	17	18	19	20		11	12	13	14	15	16	17	
16	17	18	19	20	21	22		21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24	
23/30	24	25	26	27	28	29		28	29	30	31					25	26	27	28	29	30		
7	S	M	T	W	T	F	S	8	S	M	T	W	T	F	S	9	S	M	T	W	T	F	S
							1			1	2	3	4	5						1	2		
2	3	4	5	6	7	8		6	7	8	9	10	11	12		3	4	5	6	7	8	9	
9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19		10	11	12	13	14	15	16	
16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26		17	18	19	20	21	22	23	
23/30	24/31	25	26	27	28	29		27	28	29	30	31				24	25	26	27	28	29	30	
0	S	M	T	W	T	F	S	11	S	M	T	W	T	F	S	12	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4							1	2		
8	9	10	11	12	13	14		5	6	7	8	9	10	11		3	4	5	6	7	8	9	
15	16	17	18	19	20	21		12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16	
22	23	24	25	26	27	28		19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23	
29	30	31						26	27	28	29	30				24/31	25	26	27	28	29	30	
1	S	M	T	W	T	F	S	2	S	M	T	W	T	F	S	3	S	M	T	W	T	F	S
24		1	2	3	4	5	6							1	2	3					1	2	
	7	8	9	10	11	12	13		4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20		11	12	13	14	15	16	17		10	11	12	13	14	15	16	
21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24		17	18	19	20	21	22	23	
28	29	30	31					25	26	27	28	29				24/31	25	26	27	28	29	30	

教育普及プログラム

こども・ファミリー向けプログラム

福岡ミュージアムウィーク2023

「国際博物館の日」(5月18日)にあわせて、さまざまな催しを行います。(5月13日～21日〈予定〉)

夏休みこども美術館

子どもと美術の出会いの場として、展示・ワークショップ・ツアー等を開催。(下記もご覧ください)

ファミリー DAY

親子で楽しめるワークショップや鑑賞プログラムを実施します。(11月3日～5日)

ベビーカーツアー

赤ちゃんといっしょに作品を見ながら館内を楽しくお散歩します。(年数回開催します)

学校向けプログラム

スクールツアー

ボランティアによる児童・生徒向け対話型鑑賞ツアーです。

どこでも美術館

鑑賞教材の貸出しや、アウトリーチプログラムを行います。

大人向けプログラム

ギャラリーツアー

当館のボランティアがコレクション作品から3点を選んで紹介します。(休館日を除く毎日11:00～/14:00～)

つきなみ講座

月1回、学芸員が自身の研究などについて話す講座です。

いきヨウヨウ講座

美術を通して心をいきいきさせる65歳以上向け体験型講座です。(3月)

バリアフリーギャラリーツアー

視覚・聴覚障がい者などに向けてコレクション作品を紹介するツアーです。(9月)

その他、さまざまな連携プログラムを逐次開催します。

詳しい日程やイベントの詳細は広報誌『エスプラナード』および当館のホームページをご覧ください。
新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、プログラムの内容や日程を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

夏休みこども美術館 2023 うつく sea ! すばら sea !

6月27日(火)～9月10日(日)

海は私たちに様々な恩恵をもたらしてくれるだけでなく、いろいろな表情を見せてくれます。そんな海と昔の人々はどのように向き合い表現してきたのか、当館の古美術作品を通してご紹介します。会期中にはワークショップも開催します。



《亀形合子》16-17世紀
本多コレクション



昨年のワークショップの様子

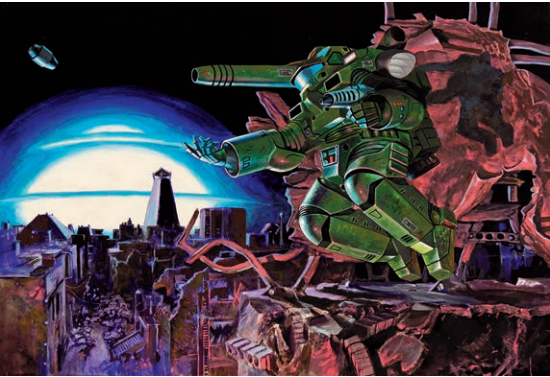
特別展

日本の巨大ロボット群像

－巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現－

9月9日(土)－11月12日(日)

アニメ『鉄人28号』放映から今年で60年。日本では脈々と「巨大ロボット」が登場するアニメが制作されてきました。歴代巨大ロボットのデザインと映像表現の特質と、その魅力に迫ります。



加藤直之・宮武一貴
《宇宙の戦士》1977年
©スタジオぬえ

永遠の都ローマ展

1月5日(金)－3月10日(日)

永遠の都ローマが誇るカピトリノー美術館の所蔵品を中心とする約70点の作品を通して、建国から古代の栄光、教皇たちの時代から近代まで、2000年の歴史と芸術を紹介します。



カピトリノーの牝狼（複製）ローマ市庁舎
©Roma, Sovrintendenza Capitolina ai Beni Culturali / Archivio Fotografico dei Musei Capitolini

企画展

朝鮮王朝の絵画－山水・人物・花鳥－

9月13日(水)

－10月22日(日)

古美術企画展示室

当館が収集してきた作品に加えて、近年新たに見出された優れた朝鮮時代の絵画をご紹介します。日本や中国とは異なる個性を持った朝鮮時代の絵画の魅力に迫ります。



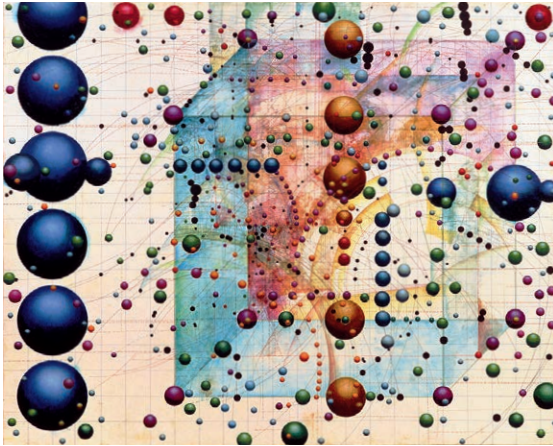
《山水図》朝鮮時代
15世紀 個人蔵

オチ・オサム展

1月24日(水)－3月24日(日)

近現代美術室A・B

佐賀県出身の美術家 オチ・オサム(1936-2015)は九州派のメンバーとして活動し、渡米を経て、独自の絵画空間を作り出しました。晩年までの作品・資料を紹介し、その幅広い活動の軌跡をたどります。



オチ・オサム《球の遊泳Ⅱ》1979年

特別展示室 Special Exhibition Gallery		ミュージア展 マルチ・アーティストの先駆者 Alfons Mucha Multitalented Artist 4月8日(土)－6月4日(日) お問い合わせ: 同展福岡会場事務局 TEL 092-711-5491		WHO AM I －SHINGO KATORI ART JAPAN TOUR－ 7月1日(土)－8月27日(日) お問い合わせ: 同展実行委員会 TEL 092-718-4649		日本の巨大ロボット群像 － 巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現 － Giant Robots: The Core of Japanese Mecha Anime 9月9日(土)－11月12日(日)		永遠の都ローマ展 Rome, the Eternal City: Masterpieces from the Capitoline Museums' Collection 1月5日(金)－3月10日(日)						
2023－2024		4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	2024 1 Jan	2 Feb	3 Mar	
コレクション展示室 Collection Galleries: Modern and Contemporary Art	近現代美術室A Modern and Contemporary Art A	コレクションハイライト Collection Highlights －6月11日(日)		6月22日(木)－①		新収蔵品展 Exhibition of New Collections 3月24日(金)－6月11日(日)②		山好きな画家たち Painters Who Love Mountains 6月22日(木)－8月27日(日)		奈良原一高「王国」 Narahara Ikko: <i>Domains</i> 8月29日(火)－11月5日(日)		日本画にみる人物表現 Expressions of Human Figures in Japanese Paintings 11月7日(火)－1月21日(日)③		企画展 オチ・オサム展 Special Exhibition Ochi Osamu 1月24日(水)－3月24日(日)
	近現代美術室B Modern and Contemporary Art B	第1回福岡アートアワード受賞作品展 The 1st Fukuoka Art Award Exhibition 3月29日(水)－6月11日(日)		時代で見る美術 1940年代 Art by Period: The 1940s 6月22日(木)－9月10日(日)		FaN Week特別展示 コレクターズ展 The Collectors 9月16日(土)－10月22日(日)		九州の女性画家たち2 Women Painters in Kyushu II 10月27日(金)－1月21日(日)④						
	近現代美術室C Modern and Contemporary Art C	コレクションハイライト Collection Highlights －6月11日(日)		6月22日(木)－										
コレクション展示室 Collection Galleries: Pre-Modern Art	古美術 企画展示室 Japanese and Other Asian Art	全部見せます！ 岩佐又兵衛《三十六歌仙》 Everyone is on Display! Iwasa Matabei's <i>Portraits of the Thirty-Six Immortal Poets</i> 4月11日(火)－6月25日(日)⑤		夏休み子ども美術館2023 うつくsea！すばらsea！ Children's Art Museum during Summer Vacation 2023 Beautiful Sea! Wonderful Sea! 6月27日(火)－9月10日(日)		企画展 朝鮮王朝の絵画 －山水・人物・花鳥－ Special Exhibition Paintings from Korea's Joseon Dynasty: Landscapes, Human Figures, and Flowers and Birds 9月13日(水) －10月22日(日)		幻の古陶・現川焼 －田中丸コレクションを中心に Exceptional Antique Pottery: Utsutsugawa Ware from the Tanakamaru Collection and Others 10月25日(水)－12月17日(日)⑥		狩野派絵画名品展 Masterpieces of the Kano School 12月19日(火)－2月18日(日)		アジアの染織 インド、インドネシア、 カンボジア Textiles of Asia: India, Indonesia, and Cambodia 2月20日(火) －4月21日(日)⑦		
	松永記念館室 Matsunaga Memorial Tea Ceremony Collection	春の名品展 Spring Masterpieces 2023 4月4日(火)－6月11日(日)		懐石のうつわ一向付・鉢・酒器 Ceramic Tableware in <i>Kaiseki</i> Cuisine: Dishes, Bowls, and Drinkware 6月13日(火)－8月20日(日)		秋の名品展 Autumn Masterpieces 2023 8月22日(火)－10月29日(日)		海を越えた交流－墨蹟を中心に Exchanges beyond the Sea: Calligraphy and Others 10月31日(火)－1月14日(日)		シリーズ 茶の湯交遊録III 原三溪と松永耳庵 Record of Tea Ceremony Series III: Hara Sankei and Matsunaga Jian 1月16日(火)－3月17日(日)⑧				
	東光院仏教美術室 Tokoin Temple Buddhist Art	東光院のみほとけ Buddhist Art from Tokoin Temple 通期 Year-Round Exhibition												

※会期や内容に変更が生じる場合があります。また、コレクション展は展示替えに伴い休室することがあります。来館前にホームページで最新情報をご確認ください。

コレクション展／近現代美術

近現代美術室A、C

コレクションハイライト

6月22日(木)－

九州ゆかりの近代洋画家、ミロ、ダリなどモダンアートを代表する作家、国内外の現代作家による作品を展示。主題も表現手法も拡張していった20世紀以降の視覚芸術の展開を、当館所蔵品を通して紹介します。**①**

近現代美術室A

新収蔵品展

3月24日(金)－6月11日(日)

2022年度に収蔵した近現代美術作品を紹介します。**②**

山好きな画家たち

6月22日(木)－8月27日(日)

画家たちが様々な表現で描いた山の風景や営みを紹介し、その魅力に迫ります。

奈良原一高「王国」

8月29日(火)－11月5日(日)

戦後日本を代表する写真家・奈良原一高(1931-2020)による「王国」シリーズを紹介します。

日本画にみる人物表現

11月7日(火)－1月21日(日)

人を描いた日本画の作品に注目し、画家たちが人をどのように描いてきたのかを探ります。**③**

近現代美術室B

第1回福岡アートアワード

受賞作品展

3月29日(水)－6月11日(日)

2022年に創設した「福岡アートアワード」の受賞作品を披露します。

時代で見る美術 1940年代

6月22日(木)－9月10日(日)

当館が所蔵する近現代美術作品を、1940年代を切り口に紹介します。

九州の女性画家たち2

10月27日(金)－1月21日(日)

昨年度に続き、当館が所蔵する九州ゆかりの女性画家による作品を展示し、その活動を振り返ります。**④**

コレクション展／古美術

古美術企画展示室

全部見せます！

岩佐又兵衛《三十六歌仙》

4月11日(火)－6月25日(日)

岩佐又兵衛(1578-1650)が描いた二組の三十六歌仙を紹介します。個性あふれる人物描写をお楽しみください。**⑤**

新収蔵品展

4月11日(火)－6月25日(日)

2022年度に寄贈や購入によって新たに収蔵された古美術作品をお披露目します。

幻の古陶・現川焼

－田中丸コレクションを中心に

10月25日(水)－12月17日(日)

現在の長崎市現川町で17世紀末から18世紀前期に焼かれた現川焼の優品を紹介します。**⑥**

仙厓展

10月25日(水)－12月17日(日)

仙厓義梵は江戸時代の禅僧で、親しみやすい書画を通して禅の教えを伝えました。仙厓さんの作品を紹介します。

狩野派絵画名品展

12月19日(火)－2月18日(日)

狩野元信や探幽など、室町時代から江戸時代にかけての絵画史を彩った狩野派の絵師による作品を紹介します。

アジアの染織

インド、インドネシア、カンボジア

2月20日(火)－4月21日(日)

当館の豊かな染織コレクションから、南アジア・東南アジアの名品を紹介します。**⑦**

松永記念館室

春の名品展

4月4日(火)－6月11日(日)

春から初夏へと移ろう季節に適した茶道具を、松永コレクションの名品により展示紹介します。

懐石のうつわ一向付・鉢・酒器

6月13日(火)－8月20日(日)

懐石(茶席で供される料理のこと)に用いられた古陶磁を紹介します。

秋の名品展

8月22日(火)－10月29日(日)

開催中の企画展「朝鮮王朝の絵画」にあわせて、同時代の日本絵画と中国絵画を紹介します。

海を越えた交流－墨蹟を中心に

10月31日(火)－1月14日(日)

古来、多くの禅僧が海を越えて日本と中国を往来しました。彼らの書跡を中心に、交流を物語る文物を紹介します。

シリーズ 茶の湯交遊録III

原三溪と松永耳庵

1月16日(火)－3月17日(日)

原三溪は松永耳庵の茶に多大な影響を与えました。松永コレクションに含まれる三溪旧蔵品を紹介します。**⑧**

東光院仏教美術室

東光院のみほとけ

通期

薬王密寺東光院は博多区吉塚に所在する歴史ある寺院です。本尊の薬師如来立像(重要文化財)は眼病をはじめとする様々な病を治すご利益があるとして、古来、信仰されてきました。東光院には、本尊の他にも多数の重要文化財の木彫像が伝わっています。これらの仏像を古いお堂を再現した展示室でご覧いただき、いにしえの博多の人びとの祈りに触れてください。(展示替えあり)



① ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》1945年
©Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPER, Tokyo, 2023 G3105



② 山内光枝《つれ潮》2018年



③ 吉村忠夫《霊剣》1939年



④ 大浦こころ《水を吹く女の子》1995年



⑥ 《現川刷毛地色絵抱銀杏文輪花血》江戸時代 17～18世紀
田中丸コレクション



⑦ 《生命樹動物文様緯緋》(部分)カンボジア 19世紀



⑤ 岩佐又兵衛《三十六歌仙》江戸時代 17世紀



⑧ 尾形乾山《花籠図》(重要文化財)江戸時代 18世紀